

特別展

追悼 澄川喜一展

2023年12月15日(金)～2024年2月12日(月)

【開館時間】 9:30～18:00 (入館は17:30まで)

【休館日】 毎週火曜日、
2023年12月28日(木)～2024年1月2日(火)

【会場】 島根県立石見美術館 展示室 A、B

【観覧料】

[当日券] 一般 300 (240) 円 / 大学生 200 (160) 円
高校生以下無料

* () 内は20名以上の団体料金

* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方および
その介助者(1名まで)は入場無料

2023年4月に亡くなった島根県吉賀町出身の彫刻家、澄川喜一。

当館では、開館時の2005年から2022年まで、17年にわたり島根県芸術文化センター長(兼島根県立石見美術館長)を勤め、石見地域の芸術振興に大きく尽力してきました。

澄川は、高校時代を過ごした山口県岩国市で、錦帯橋の魅力に目覚めて以来、長年、素材である木や石の性質を活かした抽象彫刻の制作に従事しました。また、母校である東京藝術大学で教授や学長職に就く傍ら、新制作協会展や個展で新作を発表。同時に全国各地で野外彫刻の制作や、都市部の環境造形の仕事も数多くこなし、特に東京スカイツリー®のデザイン監修を担ったことで広く世間の注目を集めました。2020年、こうした数多くの功績が表彰され、文化勲章を受章しています。

本展では、このたびの逝去を悼み、これまで当館に寄贈された彫刻作品のなかから生涯一貫して追いつけたテーマ「そりのあるかたち」を中心に、選りすぐりの作品群約40点を紹介し、創作の軌跡を振り返ります。



澄川喜一 (撮影：内海敏晴)



《そりのあるかたち》2007年 当館蔵

【主催】 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、益田市、津和野町、吉賀町、岩国市、芸術文化とふれあう協議会

【問合せ】 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館

TEL0856-31-1860/FAX0856-31-1884 <https://www.grandtoit.jp>

担当：(学芸) 左近充直美



《OROCHI》2005年(グラントワ正面玄関の屋外彫刻)